

## 学習内容一覧表

単元	配当 時数	予備 時数	配当時数のうち、学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる 時数 / 年間計画上の留意点	
しぜんを見つめる	1	0	1.0	
1. 生き物をさがそう	4	0	0.0	
2. たねをまこう	4	0	0.0	たねまきを行っていない場合は、優先的に行う。
3. チョウを育てよう	8	1	1.0	食草があるうちにチョウの幼虫の飼育を行う。学校再開後、できるだけ早いうちに本単元を実施することが望ましい。
○植物の育ちとつくり	3	0	0.5	栽培状況に応じて、指導時期を調整する。
4. 風とゴムの力のはたらき	8	1	2.0	
○花のかんさつ	1	0	0.0	栽培状況に応じて、指導時期を調整する。
自由研究	2	0	2.0	
5. こん虫のかんさつ	4	1	1.5	成虫が多く観察できる9月中に本単元を実施することが望ましい。
○植物の一生	3	1	1.0	栽培状況に応じて、指導時期を調整する。
6. かげと太陽	8	1	1.0	
7. 光のせいしつ	7	1	1.0	
8. 電気で明かりをつけよう	6	1	1.0	
9. じしゃくのふしぎ	7	1	1.0	
これまでの学習をつなげよう	1	0	1.0	
10. 音のせいしつ	5	1	1.0	
11. ものと重さ	6	1	1.0	
○おもちゃランド	2	0	1.0	
計	80	10	17.0	
年間授業時数	90			

本資料は、令和2年度用教科書「わくわく理科 3」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。

## 備考

- ・学校の授業で実験を行う際、実験器具の数の関係などで密接が想定される場合は、実験の個別化をはかる、演習実験とするなどの配慮が必要となります。
- ・学校の授業以外の場での学習活動において、インターネット上のデジタルコンテンツ等を活用することも考えられます。その際は、児童の通信環境に配慮するとともに、インターネット利用のルールとマナーを指導しておくことが望まれます。
- ・学校の授業以外の場での学習活動において、資料調べなどに取り組む場合は、事前にワークシートや記録カードなど（指導書DVD収録および弊社WEBページ掲載）を配布しておくことも考えられます。
- ・教科書の「発展」マークがついたところは、すべての児童が一律に学習する必要はありません。

しぜんを見つめる

4月第2週, 配当1時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考(○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
第1次	1	巻頭-p.5	表紙のナナホシテントウの体をじっくりと見て, どんなことに気づいたかな。もくじには, これまで学んできた内容とつながりのある内容があるかな。	1.0	教科書を見て, 理科の学習の進め方を確認する。	

計 1.0 時間

1. 生き物をさがそう

4月第2週~, 配当4時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(7), イ

【単元の目標】	【単元の評価規準】※		
身の回りの生物を探る中で, これらのようすや周辺の環境, 体のつくりに着目して, それらを比較しながら, 生物と環境とのかかわり, 生物の体のつくりを調べる活動を通して, それらについての理解をはかり, 観察などに関する技能を身につけるとともに, おもに差異点や共通点をもとに, 問題を見いだす力や生物を愛護する態度, 主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	知①/生物は, 色, 形, 大きさなど, 姿に違いがあること, また, 周辺の環境とかかわって生きていることを理解している。 知②/昆虫の育ち方には一定の順序があること, また, 成虫の体は頭, 胸及び腹からできていることを理解している。 知③/身の回りの生物について, 器具や機器などを正しく扱いながら調べ, それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①/身の回りの生物について, 差異点や共通点をもとに, 問題を見だし, 表現するなどして問題解決している。 思②/身の回りの生物について, 観察などを行い, 得られた結果をもとに考察し, 表現するなどして問題解決している。	態①/身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり, 他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※各観点の評価は, 「1. 生き物をさがそう」「3. チョウを育てよう」「こん虫のかんさつ」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準(B基準)と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考(○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
単元導入	1	p.6-9	生き物をさがそう 校庭や野原などで, 生き物をさがそう。	態	態①/身の回りの生物に進んでかかわり, 他者とかかわりながら生物を見つけようとしているかを確認する。(行動観察・発言)			・教科書QR p.8「しぜんの音を聞いてみよう」 ・教科書QR p.9「草むらなどに行くとき」
第1次	2	p.10	生き物をかんさつしよう 見つけた生き物を紹介し合い, 観察の準備をしよう。	思	思①/見つけた生物のようすについて, 詳しく知りたいことを考え, 表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			
	3・4	p.11-13	見つけた生き物は, どのようなすだったのだろうか。 観察1 春の生き物のかんさつ	知	知③/身の回りの生物のようすを, 虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ, わかりやすく記録しているかを確認する。(行動観察・記録分析)			・教科書QR p.11「虫めがねの使い方」 ○屋外での観察は, 炎天下での長時間の実施を避けるなど, 熱中症に注意する。
				思	○ 思②/身の回りの生物について, そのようすや周辺の環境に着目して比較し, 差異点や共通点をもとに考察し, 自分の考えを表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
			知	○ 知①/生物は, 色, 形, 大きさなど, 姿に違いがあることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)				

計 0.0 時間

## 2. たねをまこう

4月第4週～、配当4時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(ウ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 植物を育てる中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①／植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 知②／身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／身の回りの生物について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②／身の回りの生物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	--

※各観点の評価は、「2. たねをまこう」「植物のつくりと育ち」「花のかんさつ」「植物の一生」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 14-15	たねをまこう たねをまいて、植物がどのように育つか、調べていこう。	思		思①／植物の育ちについて問題を見だし、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			・教科書QR p. 14「思い出してみよう」 ○たねまきを行っていない場合は、優先的に行う。休校期間中に、栽培活動を家庭などで行った場合は、そのようすを伝え合う活動が考えられる。
第1次	2	p. 16-17	たねまき 育てたい植物のたねをまこう。	知		知②／たねのまき方を知り、正しくたねをまいているかを確認する。（行動観察）			・教科書QR p. 17「たねのまき方」
				態		態①／植物の育ちについて進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・発言）			
第2次	3・4	p. 18-21	めが出た後のようす たねから芽が出た後は、どのように育っていくのだろうか。 観察1 植物の育ち	知	○	知②／植物の栽培をしながら、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			・教科書QR p. 18「草たけのはかり方」
				思	○	思②／植物どうしを比較して、差異点や共通点をもとに、植物はどのように育つか考え、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			

計 0.0 時間

### 3. チョウを育てよう

5月第2週～、 配当8時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 身の回りのチョウについて、探したり育てたりする中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらと比較しながら、チョウの成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①/生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること、また、周辺の環境とかかわって生きていることを理解している。 知②/昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 知③/身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/身の回りの生物について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/身の回りの生物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	--

※各観点の評価は、「1. 生き物をさがそう」「3. チョウを育てよう」「こん虫のかんざつ」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○=指導に関する補足、●=感染症対策の例、 ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 22-24	チョウを育てよう チョウはどこで何をしているのか、話し合ってみよう。	思	○	思①/チョウの育ちや成虫の体のつくりについて問題を見だし、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			○食草があるうちにチョウの幼虫の飼育を行う。学校再開後、できるだけ早いうちに本単元を実施することが望ましい。
第1次	2・3・4	p. 25-28	チョウの育ち チョウは、どのように育っていくのだろうか。 観察1 たまごやよう虫の育ち	知	○	知③/チョウの卵や幼虫を飼育しながら、虫眼鏡などを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			○屋外でのチョウの卵の採集は、炎天下での長時間の実施を避けるなど、熱中症に注意する。
				思		思②/チョウの卵や幼虫がどのように育つのか、観察結果をもとに考え、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			
				態	○	態①/チョウについて進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
	5	p. 29-30	さなぎは、どのように変わっていくのだろうか。 観察2 さなぎのようす	思	○	思②/チョウが卵から成虫までどのように育つのか、観察結果をもとに考え、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○	知②/チョウの育ち方には一定の順序があることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第2次	6・7	p. 31-32	チョウの体のつくり チョウの成虫の体は、どんなつくりになっているのだろうか。 観察3 チョウのせい虫の体のつくり	知		知③/チョウの成虫の体のつくりについて、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、わかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			・教科書QR p.31「モンシロチョウの体のつくり」 ・NHK for School「ものすごい図鑑」モンシロチョウ <a href="https://www.nhk.or.jp/school/sukudo/zukan/">https://www.nhk.or.jp/school/sukudo/zukan/</a>
				知	○	知②/チョウの成虫の体は、頭、胸および腹からできていることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	8 ・ 予備	p. 33-35	まとめノート/たしかめよう つなげよう(カイコガときぬ糸)	態	○	態②/チョウの育ちや成虫の体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.33「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

## 植物の育ちとつくり

6月第2週～、配当3時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(ウ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 植物を育てる中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①／植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 知②／身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／身の回りの生物について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②／身の回りの生物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	--

※各観点の評価は、「2. たねをまこう」「植物のつくりと育ち」「花のかんさつ」「植物の一生」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p. 36-38	植物が育つようす 植物は、どのように育っているのだろうか。 観察1 植物の育ち	態		態①／植物の育ちについて進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・発言）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書QR p. 36「思い出してみよう」</li> <li>○栽培状況に応じて、本単元の指導時期を調整する。</li> <li>○屋外での植物の観察は、炎天下での長時間の実施を避けるなど、熱中症に注意する。</li> </ul>
				知	○	知②／植物の育ちについて、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			
第2次	2・3	p. 39-41	植物の体のつくり 植物の体は、どんなつくりになっているのだろうか。 観察2 植物の体のつくり	思	○	思②／植物の体のつくりについて、複数の種類を比較して、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	0.5	植物の植え替えを「かんさつ2」と合わせて行うことで、0.5時間程度の短縮が考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書QR p. 41「植えかえのしかた」</li> </ul>
				知	○	知①／植物の体は、根、茎および葉からできていることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			

計 0.5 時間

## 4. 風とゴムの力のはたらき

6月第3週～、配当8時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】A(2)風とゴムの力の働き ア(7)(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 風とゴムの力ともの動くようすに着目して、それらと比較しながら、風とゴムの力のはたらきを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①/風の力は、ものを動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解している。 知②/ゴムの力は、ものを動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解している。 知③/風とゴムの力のはたらきについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/風とゴムの力のはたらきについて、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/風とゴムの力のはたらきについて、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/風とゴムの力のはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。 態②/風とゴムの力のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	---

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○=指導に関する補足、●=感染症対策の例、 ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 42-43	風とゴムの力のはたらき 身の回りの風やゴムについて、話し合ってみよう。	思		思①/身の回りの風の力のはたらきについて問題を見だし、自分の考えを表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			・教科書QR p. 42「思い出してみよう」
第1次	2 ・ 3 ・ 4	p. 44-47	風の力のはたらき 風の強さを変えると、ものを動かすはたらきは、どのように変わるのだろうか。 活動 風で動く車をつくって動かそう 実験 1 風の強さと車が動ききり	思	○	思①/風の強さと車が動く距離の関係について、問題を見だしているかを評価する。(発言・記述分析)	0.5	風で動く車の製作を授業以外の場で行う。	・教科書QR p. 44「風で動く車のつくり方」 ・教科書QR p. 47「発展する風力発電」
			知	○	知③/風の力のはたらきについて、送風機などを正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。(行動観察・記録分析)				
			思		思②/風の力のはたらきについて、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを確認する。(発言・記述分析)				
			知	○	知①/風の力は、ものを動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)				
			態	○	態①/風の力をはたらかせたときの現象に進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。(行動観察・発言)				
第2次	5 ・ 6 ・ 7	p. 48-50	ゴムの力のはたらき ゴムを伸ばす長さを変えると、ものを動かすはたらきは、どのように変わるのだろうか。 活動 ゴムで動く車をつくって動かそう 実験 2 ゴムをのばす長ささと車が動ききり	知		知③/ゴムの力のはたらきについて、器具を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。(行動観察・記録分析)	0.5	ゴムで動く車の製作を授業以外の場で行う。	・教科書QR p. 48「ゴムで動く車のつくり方」
			思	○	思②/ゴムの力のはたらきについて、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。(発言・記述分析)				
			知	○	知②/ゴムの力は、ものを動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)				
まとめ～ つなげよう	8 ・ 予備	p. 51-53	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(ゴムノキ)	態	○	態②/風とゴムの力のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(行動観察・発言・記述分析)	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 51「学習をふり返ろう」

計 2.0 時間

## 花のかんさつ

7月第3週～、配当1時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(ウ)、イ

<b>【単元の目標】</b> 植物を育てる中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	<b>【単元の評価規準】※</b> 知①／植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 知②／身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①／身の回りの生物について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②／身の回りの生物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	態①／身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
---	--	---	--

※各観点の評価は、「2. たねをまこう」「植物のつくりと育ち」「花のかんさつ」「植物の一生」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点 態	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p.54-57	花がさいたようす 植物は、どのように育っているのだろうか。 観察1 植物の育ち			態①／植物の育ちや花のようすについて進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・発言）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書QR p.54「思い出してみよう」</li> <li>○栽培状況に応じて、本単元の指導時期を調整する。</li> <li>○屋外での植物の観察は、炎天下での長時間の実施を避けるなど、熱中症に注意する。</li> <li>・教科書QR p.57「いろいろな植物の花」</li> </ul>
				知	○	知②／植物の育ちや花のようすについて、虫眼鏡などを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			

計 0.0 時間

## 自由研究

7月第3週・9月第2週、配当2時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1・2	p.58-59	調べることを決め、調べる方法などを計画しよう。 調べた結果をまとめ、わかりやすく発表しよう。	2.0	教科書QRなどを利用してテーマを探し、自由研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントへの参加や施設の利用にあたっては、感染の状況に十分に注意する。</li> <li>・教科書QR p.58「自由研究に役立つリンク集」</li> </ul>

計 2.0 時間

## 5. こん虫のかんさつ

9月第2週～、 配当4時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(7)(イ)、イ

<b>【単元の目標】</b> 身の回りの昆虫について、探したり育てたりする中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、生物と環境とのかかわり、昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	<b>【単元の評価規準】※</b> 知①/生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること、また、周辺の環境とかかわって生きていることを理解している。 知②/昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 知③/身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①/身の回りの生物について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/身の回りの生物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	態①/身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
---	---	---	--

※各観点の評価は、「1. 生き物をさがそう」「3. チョウを育てよう」「こん虫のかんさつ」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入 第1次	1	p. 60-64	こん虫のすみか どこに、どんな昆虫がいるのだろうか。 観察1 こん虫のすみか	態	○	態①/身の回りの昆虫について進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			・教科書QR p.60「思い出してみよう」 ○成虫が多く観察できる9月中に本単元を実施することが望ましい。 ○屋外での昆虫の観察や採集は、炎天下での長時間の実施を避けるなど、熱中症に注意する。
				思		思②/身の回りの昆虫と環境とのかかわりについて、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			
				知	○	知①/生物は、周辺の環境とかかわって生きていることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第2次	2	p. 65-66	こん虫の体のつくり 昆虫の成虫の体は、どんなつくりになっているのだろうか。 観察2 こん虫のせい虫の体のつくり	知	○	知②/昆虫の成虫の体は頭、胸および腹からできていることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			・NHK for School「ものすごい図鑑」カブトムシ・トンボ・バッタ <a href="https://www.nhk.or.jp/school/sukudo/zukan/">https://www.nhk.or.jp/school/sukudo/zukan/</a>
第3次	3	p. 67-69	こん虫の育ち 昆虫は、どんな育ち方をするのだろうか。 観察3 こん虫の育ち	思	○	思②/昆虫の育ち方について、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	0.5	教科書p.68-69や映像教材、図鑑などを利用して調べ、ノートやワークシートに記入する。	・NHK for School『カブトムシの育ち方』 <a href="http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300957_00000">http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300957_00000</a> ・NHK for School『バッタの育ち方』 <a href="http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300955_00000">http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300955_00000</a> ・NHK for School『トンボの育ち方』 <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300159_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300159_00000</a>
				知	○	知②/昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	4 ・ 予備	p. 70-73	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう（こん虫のかくれんぼ、こん虫をまねる）	態	○	態②/身の回りの昆虫について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.70「学習をふり返ろう」 ・教科書QR p.72「秋のエノキの葉とゴマダラチョウ」

計 1.5 時間



## 植物の一生

9月第4週～、 配当3時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(1)身の回りの生物 ア(ウ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 植物を育てる中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①/植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 知②/身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/身の回りの生物について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/身の回りの生物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/身の回りの生物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	--

※各観点の評価は、「2. たねをまこう」「植物のつくりと育ち」「花のかんさつ」「植物の一生」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○=指導に関する補足、●=感染症対策の例、 ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p. 74-76	実ができたようす 花が咲いた後の植物は、どうなっていくのだろうか。 観察1 植物の育ち	態	○	態①/植物の育ちや実のようすについて進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。(行動観察・発言)			・教科書QR p. 74「思い出してみよう」 ○栽培状況に応じて、本単元の指導時期を調整する。
第2次	2	p. 77	かんさつきろくのふり返り これまでの観察記録を振り返って、植物の育ち方について考えよう。	思	○	思②/植物の育ち方について、複数の植物を比較して、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
				知	○	知①/植物の育ち方には一定の順序があることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
まとめ～ つなげよう	3 ・ 予備	p. 78-81	まとめノート/たしかめよう つなげよう (ダイズの育ち)	態	○	態②/植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(行動観察・発言・記述分析)	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 78「学習をふり返ろう」 ・教科書QR p. 80「ダイズの育ち」

計 1.0 時間

## 6. かげと太陽

10月第2週～、配当8時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(2) 太陽と地面の様子 ア(ア)(イ)、イ

【単元の目標】 日なたと日陰のようすに着目して、それらを比較しながら、太陽の位置と地面のようすを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	【単元の評価規準】 知①/日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 知②/地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。 知③/太陽と地面のようすとの関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①/太陽と地面のようすとの関係について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/太陽と地面のようすとの関係について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	態①/太陽と地面のようすとの関係についての事象・現象に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしている。 態②/太陽と地面のようすとの関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
---	---	---	--

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 82-84	かげと太陽 影つなぎや影踏み遊びをして、気付いたこと、疑問に思ったことを、話し合ってみよう。	思	思①/影と太陽について、差異点や共通点をもとに、問題を見いだすことができているかを確認する。（行動観察・発言）			・NHK for School 『いろいろなかげ』 <a href="http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300604_00000">http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300604_00000</a>
第1次	2	p. 85-86	かげのでき方と太陽 影は、どんなところにできるのだろうか。 観察1 かげと太陽のいち	知	○ 知①/日陰は太陽の光を遮るとできることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			・教科書QR p. 85 「しゃ光板の使い方」
第2次	3・4	p. 87-91	かげと太陽の動き なぜ、影の向きが変わったのだろうか。 観察2 かげと太陽の動き	思	○ 思①/時刻による日陰の位置の変化を比較して問題を見だし、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			・教科書QR p. 87 「かげの動き」
				知	○ 知③/影と太陽の位置について、方位磁針や遮光板などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			・教科書QR p. 89 「ほういじしんの使い方」
				知	○ 知①/日陰の位置は、太陽の位置の変化によって変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第3次	5	p. 92-93	日なたと日かげの地面 日なたと日陰の地面のようすは、どんなところが違うのだろうか。 活動 日なたと日かげの地面のようす	思	思①/日なたと日陰の地面のようすを比較して問題を見だし、自分の考えを表現しているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）			
				態	○ 態①/太陽と地面のようすとの関係について進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
	6・7	p. 94-96	日なたと日陰の地面の温度は、どれぐらい違うのだろうか。また、地面の温度は、時間がたつと、どうなるのだろうか。 観察3 日なたと日かげの地面の温度	知	○ 知③/温度計を正しく扱って、日なたと日陰の地面の温度を調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			・教科書QR p. 95 「温度計の使い方」
				思	○ 思②/日なたと日陰の地面について、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○ 知②/地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では暖かさや湿り気に違いがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	8・予備	p. 97-99	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう（日光のりよう）	態	○ 態②/太陽と地面のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 97 「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

## 7. 光のせいしつ

11月第1週～、配当7時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】A(3)光と音の性質 ア(7)(イ)、イ

【単元目標】 光を当てたときの明るさやあたたかさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質について調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	【単元の評価規準】 知①/日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 知②/ものに日光を当てると、ものの明るさや暖かさが変わることを理解している。 知③/光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①/光の性質について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/光の性質について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	態①/光の性質についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしている。 態②/光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
---	--	---	--

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 100-102	光のせいしつ 日光をはね返して気づいたことや、疑問に思ったことについて、話し合ってみよう。	思 ○	思①/光の性質について問題を見だし、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
第1次	2	p. 103-104	はね返した日光の進み方 はね返した日光は、どのように進むのだろうか。 実験 1 はね返した日光の進み方	知 ○  態 ○	知①/日光は直進し、反射させることができることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）  態①/光の性質について進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第2次	3 ・ 4	p. 105-106	はね返した日光を重ねたとき はね返した日光を重ねると、どうなるのだろうか。 実験 2 はね返した日光を重ねたときの明るさと温度	知 ○  思 ○  知 ○	知③/的の明るさや温度について、鏡や温度計などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）  思②/日光を重ねたときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）  知①②/日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさやあたたかさが変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第3次	5 ・ 6	p. 107-108	日光を集めたとき 虫眼鏡で日光を集めると、どうなるのだろうか。 実験 3 日光を集めたときの明るさとあたたかさ	思  知 ○	思①/日光を集めたときについて、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）  知①②/日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさやあたたかさが変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	7 ・ 予備	p. 109-111	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(せい火)	態 ○	態②/光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 109 「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

## 8. 電気で明かりをつけよう

12月第1週～、 配当6時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 A(5) 電気の通り道 ア(7)(イ), イ

<p><b>【単元の目標】</b> 乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだもののように着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①／電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 知②／電気を通すものと通さないものがあることを理解している。 知③／電気の回路について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／電気の回路について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②／電気の回路について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／電気の回路についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	---	---	--

次	時	ページ	指導計画	重点記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 112-113	電気で明かりをつけよう 街の明かりの写真を見て、気づいたことや、疑問に思ったことを話し合おう。	思	思①／電気の回路について問題を見だし、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			
第1次	2・3	p. 114-117	明かりがつくとき 豆電球と乾電池をどのようにつなぐと、明かりがつくのだろうか。 実験 1 明かりがつくとき・つかないとき	知	○ 知③／電気の回路について、乾電池や豆電球を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			・教科書QR p. 114 「どう線のつなぎ方」
				思	思②／明かりがつくときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			
				知	○ 知①／電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
				態	○ 態①／電気の回路について進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第2次	4・5	p. 118-120	電気を通すもの どんなものが、電気を通すのだろうか。 実験 2 電気を通すもの・通さないもの	思	○ 思①／電気を通すものについて予想し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			●電気を通すものを調べる用具は、個人もしくは少人数で扱い、実験の前には手を洗う。
				思	○ 思②／電気を通すものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○ 知②／電気を通すものと通さないものがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	6・予備	p. 121-123	まとめノート／たしかめよう つなげよう（電気を安全に使う）	態	○ 態②／電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート／たしかめよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 121 「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

## 9. じしゃくのふしぎ

1月第2週～、 配当7時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 A(4)磁石の性質 ア(ア)(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 磁石を身の回りのものに近づけたときのように着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①／磁石に引きつけられるものと引きつけられないものがあること、また、磁石に近づけると磁石になるものがあることを理解している。 知②／磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 知③／磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／磁石の性質について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②／磁石の性質について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／磁石の性質についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	---	---	--

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p.124-125	じしゃくのふしぎ 身の回りの磁石について、話し合ってみよう。	思		思①／磁石の性質について、差異点や共通点をもとに、問題を見いだすことができているかを確認する。（行動観察・発言）			
第1次	2・3・4	p.126-130	じしゃくにつくもの どんなものが、磁石につくのだろうか。 実験1 じしゃくにつくもの・つかないもの	思	○	思①／磁石につくものを、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			●磁石につくものを調べる用具は、個人もしくは少人数で扱い、実験の前には手を洗う。
				知	○	知③／磁石につくものについて、磁石などを正しく扱いながら調べ、その結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			
				思		思②／磁石につくものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			
				知	○	知①／磁石に引きつけられるものと引きつけられないものがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第2次	5	p.131-132	じしゃくのきょく 2つの磁石の極どうしを近づけると、どうなるのだろうか。 実験2 きょくどうしを近づけたとき	知	○	知②／磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			・教科書QR p.132 「じしゃくが止まるときの向き」
				態	○	態①／磁石の極の性質について進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第3次	6	p.133-134	じしゃくについた鉄 磁石についた鉄は、磁石になったのだろうか。 実験3 じしゃくになったのかたしかめる	思	○	思②／磁石についた鉄の実験で得られた結果を考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○	知①／磁石に近づけると磁石になるものがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	7・ 予備	p.135-137	まとめノート／たしかめよう つなげよう（小学生の発明家）	態	○	態②／磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート／たしかめよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.135 「学習をふり返ろう」 ・教科書QR p.137 「小学生の発明家」

計 1.0 時間

## これまでの学習をつなげよう

2月第1週、 配当1時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p.138-139	電気と磁石の学習で調べたものは、どのように整理できるだろうか。	1.0	教科書を読んで、これまでの学習をふり返る。	

計 1.0 時間

# 10. 音のせいしつ

2月第1週～、 配当5時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 A(3) 光と音の性質 ア(ウ), イ

<p><b>【単元の目標】</b> 音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①/ものから音が出たり伝わったりするとき、ものは震えていること、また、音の大きさが変わるときものの震え方が変わることを理解している。 知②/音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/音の性質について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②/音の性質について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/音の性質についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--	---	--

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 140-142	音のせいしつ 音が出ているもののようすについて、話し合ってみよう。	思 ○	思①/音が出ているときのもののようすについて問題を見だし、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			○「問題を見いだす」力を育てる指導に適した単元であり、特に意識して指導することが望ましい。 ・教科書QR p. 142 「音が出るもの」
				態 ○	態①/音の性質について進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第1次	2	p. 143-144	音が出ているとき 音が出ているときのもののようすは、どうなっているのだろうか。 実験1 音が出ているもののようす	思 知	思②/音が出ているときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析） 知①/ものから音が出るとき、ものは震えていること、また、音の大きさが変わるとき、ものの震え方が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第2次	3・4	p. 145-146	音がつたわるとき 音が伝わる時、もののようすはどうなっているのだろうか。 実験2 音がつたわるときもののようす	知 知	知②/糸電話を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析） 知①/ものから音が伝わる時、ものは震えていることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			●糸電話の紙コップは共用を避け、紙コップに名前を書くなどして個人で扱う。破棄する際も、本人以外が触れないように注意する。
まとめ～つなげよう	5・予備	p. 147-149	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう（音をつたえるもの）	態 ○	態②/音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 147 「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

# 1 1. ものと重さ

2月第4週～、 配当6時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 A(1)物と重さ ア(7)(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> ものの形や体積に着目して、重さを比較しながら、ものの性質を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①／ものは、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 知②／ものは、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 知③／ものの性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／ものの性質について、差異点や共通点をもとに、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 思②／ものの性質について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／ものの性質についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。 態②／ものの性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	---

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p.150-152	ものと重さ 身の回りのものの重さを比べよう。	思		思①／ものと重さについて問題を見だし、自分の考えを表現しているかを確認する。（行動観察・発言）			
第1次	2・3	p.153-154	ものの形と重さ ものの形を変えたとき、重さは変わるのだろうか。 実験1 形をかえたときの重さくらべ	思	○	思①／ものの形を変えたときの重さについて問題を見だし、自分の考えを表現しているかを評価する。（行動観察・発言）			●粘土などは個人もしくは少人数で扱い、実験の前には手を洗う。  ・教科書QR p.153「台ばかりの使い方」
				知	○	知③／自動上皿はかりを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			
				知	○	知①／ものは、形が変わっても重さは変わらないことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
				態	○	態①／ものの形と重さについて進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第2次	4・5	p.155-156	ものの体積と重さ 同じ体積でも、ものの種類が違くと重さは違うのだろうか。 実験2 同じ体積のものの重さくらべ	思	○	思②／ものの体積と重さの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			・教科書QR p.156「いろいろなてんびん」
				知	○	知②／ものは、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	6・ 予備	p.157-159	まとめノート／たしかめよう つなげよう（キリのたんす）	態	○	態②／ものと重さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート／たしかめよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.157「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

# おもちゃランド

3月第2週～、配当2時間

【学習指導要領との関連】A区分全般

<p><b>【単元の目標】</b>                  風とゴムの力、光や音、乾電池や豆電球、磁石、ものの体積と重さの関係などを利用したおもちゃづくりを通して、学習したことやものづくりへの興味・関心を高める。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b>                  知①／器具を正しく扱いながら、学習したことを利用したものづくりをしている。</p>	<p>思①／学習したことを利用したものづくりを通して、製作の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／学習したことを利用したものづくりに進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。</p>
---	--	--	--

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1 ・ 2	p.160- 163	<p>おもちゃランド                      おもちゃづくりを通して、これまでに学習したことを深めよう。                      活動 おもちゃをつくろう</p>	態	○	<p>態①／これまで学習したことを生かして、他者とかかわりながらおもちゃを製作しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）</p>	1.0	おもちゃの計画カードの記入、製作を授業以外の場で行う。	教科書QR p.160「思い出してみよう」
			思	○	<p>思①／これまで学習したことを意識して、おもちゃの計画を立てているかを評価する。（行動観察・記述分析）</p>				
			知	○	<p>知①／器具を正しく扱いながらおもちゃを製作しているかを評価する。（行動観察・作品分析）</p>				

計 1.0 時間